

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0194100202		
法人名	特定非営利活動法人・和		
事業所名	共生型多機能施設・グループホーム・コロイ		
所在地	釧路市阿寒町阿寒湖温泉2丁目5番3号		
自己評価作成日	平成31年2月12日	評価結果市町村受理日	平成31年3月8日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_2018_022_kani=true&JigyosyoCd=0194100202-00&PrefCd=01&VersionCd=022

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	タンジェント株式会社
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号 旭川リサーチセンター内
訪問調査日	平成31年3月4日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

認知症カフェ(コロイ喫茶)や、住民主体の通所サービス・「おたっしやサービス」など、地域の皆さんが集まる機会を増やしていき、コロイの利用者様との交流の場を広めている。今年は開設、10周年を迎え、益々、地域の方々との繋がりを大切にしていきたい。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

阿寒湖温泉の中心街に平成21年12月に開設された木造2階建て2階部分の1ユニット(定員:9名)の認知症対応型共同生活介護事業所(グループホーム)です。
地域の関係機関と連携して、地域に向けて家族介護教室を開催して地域の困りごとへの相談の対応や認知症カフェ、住民主体の通所サービスへの協力など事業所の持つ専門性を活かした地域貢献や地域の人々との協力・連携に取り組んでいる。また、コロイ祭りの開催では、地元の人々や家族等が多く参加して交流の機会を設けたり、敬老会や認知症カフェの開催では、民謡や大正琴、地元中学生徒のボランティアの協力を得て楽しみごとへの支援をしている。戸外に出かける支援では、一人ひとりのその日の希望に沿って日常の散歩や買い物、地域のまりも祭り見物や北見の菊祭り鑑賞、東藻琴の芝桜見物など普段は行けないような場所でも出かけられるように支援している。

V サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取組を自己点検した上で、成果について自己評価します

項 目		取組の成果 ↓該当するものに○印		項 目		取組の成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる (参考項目:23、24、25)		1 ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9、10、19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 利用者の2/3くらいの			○	2 家族の2/3くらいと
			3 利用者の1/3くらいの				3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどつかんでいない				4 ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18、38)	○	1 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2、20)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある				2 数日に1回程度
			3 たまにある				3 たまに
			4 ほとんどない				4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1 ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1 大いに増えている
			2 利用者の2/3くらいが				2 少しずつ増えている
			3 利用者の1/3くらいが				3 あまり増えていない
			4 ほとんどいない				4 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36、37)	○	1 ほぼ全ての利用者が	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11、12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 利用者の2/3くらいが				2 職員の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが				3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない				4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1 ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが				2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが				3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない				4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30、31)	○	1 ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 利用者の2/3くらいが				2 家族等の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが				3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない				4 ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1 ほぼ全ての利用者が				
			2 利用者の2/3くらいが				
			3 利用者の1/3くらいが				
			4 ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	開設当初にスタッフで作り上げた理念をもとに、新しいスタッフにも理念を理解していただき、全スタッフが理念を共有してケアの統一を目指しています。	事業所独自の理念をスタッフ全員で作り、その理念を職員間で共有して実践につなげている。また、見易い場所に掲示している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会活動への参加や、事業所自体で行っている催し物に地域の皆さんが参加していただくことで交流を深めていただいている。	地域の関係機関と連携して、地域に向けて家族介護教室を開催して地域の困りごとへの相談の対応や住民主体の通所サービスへの協力など地域の人々との協力・連携に取り組んでいる。	
3	3	○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	毎週、地域の方々が集まり行っているカラオケや、認知症カフェを開催することで、認知症の方々とも、関わりをもっていただき、一緒に理解をしていただけるようにしている。		
4		○運営推進会議を活かした取組 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者様自身やご家族様、地域の方に会議に出席していただき、都度、事業所の活動報告や近況をお伝えし、意見交換を行っています。	定期的に運営推進会議を開催して、事業所の運営状況の報告や活動状況、地域との連携等の具体的内容について話し合い、そこでの意見等をサービスの向上に活かすよう努めている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営会議や認知症カフェ、おたしやサービスの開催を通じ、日常業務の取り組みをお伝えし、常に情報を交換したり、協力関係を築いています。	関係機関と連携して、地域に向けて家族介護教室の開催や地域の困りごとへの相談の対応、認知症カフェ、住民主体の通所サービスへの協力などで協力関係を築くように取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束廃止」対策委員会を開き、スタッフ全員が理解するように、身体拘束ゼロの手引きを、皆で確認しあったり、研修会に参加するなど、拘束しないケアに取り組んでいます。	指定基準における禁止の対象となる具体的な行為を身体拘束廃止や虐待防止等の内部研修会開催で正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待についても、委員会を設け、定期的に虐待や身体拘束について、話し合いの場を設けたり、時々、スタッフから聞き取り調査を行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を利用している利用者様がいらっしゃるもので、後見人の方と話し合ったり、相談したりしてうまく活用できるようにしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は、利用者様はもちろん、ご家族様にも、理解して頂けるように、何度も繰り返し、説明をし納得して頂けるようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営会議や、コロイ喫茶、その他の行事などでご家族が来られた時に意見や要望を聞いたり、遠方のご家族様には電話で、近況を報告し、意見等をうかがっている。	家族や地域の人々に向けたコロイ喫茶の開催で交流の機会を設けている。また、家族等が意見や要望等を言い表せる機会を設けて、そこでの意見等を運営に反映できるように努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	個人面談や自己評価など行うことにより、意見や提案を聞く場を設けています。	個人面談や定期的ミーティングの実施、日常業務を通じて職員の意見や提案を聞く機会を設け、そこでの意見等を運営に反映できるよう努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	スタッフの資格や経験などに応じて処遇を行うことを基本として、それぞれが、向上心を持って働けるような環境作りをしています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	自己評価を実施して、それぞれの力量を把握し、目標を持ってもらい、実際に取り組んでもらっています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている	研修会には、積極的に参加していただき、サービスの質の向上を目指し、法人内で行われている勉強会では、活発な意見交換を行っています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	契約時には、ご本人、ご家族様より細かくアセスメントすることで、ご本人が望まれる生活や支援の方法を確認しながら、安心して暮らせるように、支援をしていきます。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様からも、不安や要望、困っていることをうかがい、サポートしていけるよう、信頼関係を築いていきます。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	何が今必要なのか、見極めて、状況や状態を把握しながら支援を行っています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様から学ぶ事を大切にして、敬い、常に寄り添える事で、信頼関係を深めていけるように、支援しています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	なかなか面会に来られないご家族様には、定期的に近況を報告し、ケアに関する、情報交換やアドバイスを頂いています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出できる方は、積極的に地域の行事などに参加をして頂いたり、馴染みの場所、お店などに一緒に同行し、今までの関係を続けていけるよう、支援しています。	地域のまりも祭りへの参加や菊祭り、芝桜見物、敬老会等の事業所主催の行事で地域ボランティアとの交流など、馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	輪に入れない利用者様には、声を掛け、できるだけ独りにならない様に、スタッフが間に入り、利用者同士が関わり合えるように支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組 サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された利用者様やそのご家族が気軽に立ち寄れるような環境作りに努めております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの暮らしの希望、要望など聞き入れ、ご本人が居心地のいい場所になるように努力しています。	一人ひとりの希望や意向の把握に努め、職員間で情報を共有して本人本位に検討している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの暮らし方、環境など、ご家族様や、地域の方よりお話を伺い、出来るだけ把握できるように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活や心身状態に合わせ、個別ケアが出来るように努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議を開催し、それぞれの目線から、意見を聞き、ご本人が安心して暮らせるような介護計画を作成しています。	本人・家族からの意向や要望、医師・看護師からの指導や助言を得ながら、担当者会議等で職員からの意見やアイデアを反映して現状に即した介護計画を作成している。また、状態変化時には都度見直しを実施している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録や伝達ノートをもとに、普段から情報をスタッフ間で共有し、日々のケアをお互いに確認することで、プランの見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとられない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	面会に来られないご家族様には、受診時に待ち合わせ、同席して頂いたり、一緒に外出や外泊なども、ご家族に声をかけ、実行出来るように、促しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	その方の生活にあった地域資源を活用し、楽しんでもらえるように、プランにも取り入れていくようにする。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診は出来るだけ、ご本人やご家族が希望されているところが、かかりつけ医となるように、支援しています。	通院への支援や日常の健康管理で適切な医療を受けられるようにしている。受診は、本人や家族の希望するかかりつけ医となるよう努めている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	スタッフ間で判断できない時は、同じ法人内の看護師に相談し適切な指示をいただいて、対応しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	かかりつけ医とは、万が一の入院についても、普段の定期受診の時に相談したり、連携会議などで、情報交換を行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者とともにチームで支援に取り組んでいる	医療連携が困難な地域なので、あらかじめ、ご家族様には、事業所で出来ることを説明し、理解して頂いています。	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ができること、できないことを十分説明しながら方針を職員間で共有している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	運営会議の時など、消防署員に協力して頂き、急変時や応急処置の勉強会を開催したり、数回に分け、スタッフ全員が受講できるように、救命の講習会も行っている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災時の避難訓練と噴火、水害時の避難訓練を行い、町内会や行政にも協力して頂いている。	近隣住民や町内会の人々の協力を得ながら消防署の協力のもと総合防災訓練を実施している。また、緊急時の応急処置の講習会を受講している。	

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重して、気分を損ねないように、言葉かけや対応に気を配っている。	一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねる言葉かけがないように内部研修会を開催して、職員間に周知している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人が自己決定できることは、していただき、思いや希望を第一に考えています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している	一人ひとりのペースを大切に、スタッフ側の都合ではなく、ご本人の思いを確認して、なるべく希望に沿えるように、支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	一人ひとり、その人らしく、髪型や服装にも気を配って、ご自分で出来ない方には、お手伝いしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	おかずの盛り付けを手伝ってもらったり、茶碗洗いや片付けは習慣になっています。	一人ひとりの好みや力を活しながら、職員と一緒に食事の準備や後片付け、調理などしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量を把握して、その方にあつた量を摂取して頂けるよう、支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアは、ご自分で出来る方は、自身でやっていただき、困難な方には、スタッフで声掛けをしたり、対応したりしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握して、こまめに声かけをすることで、トイレで排泄できるように、支援しています。	一人ひとりの力や排泄パターンを把握しながら、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘にならないように、食事に気を配ったり、乳製品を多く取り入れたり、体操など、積極的に行うようにしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に沿った支援をしている	一人ひとりの希望に合わせ、週に2～3回、入浴を行い楽しんでいただいています。	一人ひとりの希望やタイミング、生活習慣に合わせて週2回～3回を目安に入浴が楽しみなものになるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣に合わせて、休息して頂いたり、夜間、安心して眠れるように、それぞれにあつた対応をしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	かかりつけ医と相談して、下剤や痛みどめは調整しながら服薬して頂いたり、都度、症状の変化を確認しながら、対応しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事や花壇、裁縫など、行ってもらうことで、張り合いや楽しみを見つけてもらい、気分転換になるように支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常の散歩や買い物の支援、また、普段行けない場所への外出は、ご家族や、ボランティアの方に協力していただき、支援しています。	一人ひとりのその日の希望に沿って日常の散歩や買い物、地域のまりも祭り見物や北見の菊祭り鑑賞、東藻琴の芝桜見物など普段は行けないような場所でも出かけられるように支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様より、おこずかいとして預かり、ご自身で持っていたいという方には、所持してもらい、自由に使えるように支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望があれば、電話や手紙のやりとりなど、行っていただけるよう、支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアには、季節に合わせた飾り付けをし、みんなで作った作品など展示して、心地よく過ごせるように工夫しています。	利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。また、共用空間からは四季折々の新緑や紅葉が眺められるなど生活感や季節感を採り入れ、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアで過ごすことが多いかたには、座席の配置に配慮して、思い思いに過ごせる様に工夫をしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際に馴染みのものや使い慣れたものをお持ちして頂いています。	居室には、使い慣れた家具や寝具等が持ち込まれるなど本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来るだけ自立した生活が送れるようにゆとりとしたスペースを確保しています。		

目標達成計画

事業所名 グループホーム・コロイ
作成日：平成 31年 3月 5日

【目標達成計画】

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成に 要する期間
1	36	利用者様の尊厳に対しての、認識や意識に違いがあり、ケアにも差が出てしまう。理解・統一したケアを行っていきたい。	全スタッフが理解が出来、利用者様を尊重した対応が出来るようになる。	業務会議などで時間をつくり、尊厳に対しての意見交換や勉強会を開き、ケアの統一をはかる。	12か月
2					
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。
注2)項目数が足りない場合は、行を追加してください。

タンジェント株式会社